

# Mizuho Daily Market Report

2023/8/3

## 為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	142.65	143.32	▲0.02	+3.08
EUR	1.0990	1.0938	▲0.0046	▲0.0148
AUD	0.6580	0.6538	▲0.0075	▲0.0220
SGD	1.3378	1.3410	+0.0044	+0.0156
CNY	7.1834	7.1916	+0.0139	+0.0485
MYR	4.5467	4.5425	+0.0237	▲0.0062
THB	34.33	34.27	+0.05	+0.01
IDR	15175	15175	+60	+157
PHP	55.18	55.20	+0.41	+0.57
INR	82.57	82.59	+0.33	+0.59

## 金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.078%	+5.5 bp	+21.1 bp
日本(10年)	0.628%	+2.1 bp	+17.3 bp
ユーロ圏(10年)	2.535%	▲2.2 bp	+5.0 bp
オーストラリア(5年)	3.773%	+3.0 bp	▲8.5 bp
シンガポール(5年)	2.942%	▲2.8 bp	▲7.7 bp
中国(5年)	2.446%	▲0.9 bp	+1.1 bp
マレーシア(5年)	3.604%	▲0.1 bp	+0.8 bp
タイ(5年)	2.359%	+0.0 bp	+0.0 bp
インドネシア(5年)	5.981%	+0.7 bp	+1.9 bp
フィリピン(5年)	6.204%	+0.0 bp	+6.7 bp
インド(5年)	7.130%	▲0.5 bp	+5.4 bp

## 株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	35,282.52	▲1.0%	▲0.7%
N225(日本)	32,707.69	▲2.3%	+0.1%
STOXX50(ユーロ圏)	4,336.50	▲1.6%	▲0.2%
ASX(オーストラリア)	4,124.04	▲1.3%	▲1.5%
FTSTI(シンガポール)	3,325.02	▲1.4%	+0.6%
SSEC(中国)	3,261.69	▲0.9%	+1.2%
KLSE(マレーシア)	1,444.56	▲0.5%	▲0.3%
SETI(タイ)	1,550.28	▲0.4%	+1.7%
JKSE(インドネシア)	6,854.510	▲0.5%	▲1.3%
PSE(フィリピン)	6,483.28	▲1.7%	▲2.9%
SENSEX(インド)	65,782.78	▲1.0%	▲1.4%

## 商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	276.50	▲1.5%	▲1.6%
金	1,934.45	▲0.5%	▲1.9%
原油(WTI)	79.49	▲2.3%	+0.9%
銅	8,469.24	▲1.5%	▲1.3%

\*1週間前の終値と比較

## 【本日の予想レンジ】

USD/JPY	141.60	—	143.80
EUR/USD	1.0920	—	1.1010
AUD/USD	0.6510	—	0.6620
USD/SGD	1.3390	—	1.3470
USD/CNY	7.1480	—	7.1960
USD/MYR	4.4960	—	4.5360
USD/THB	34.10	—	34.55
USD/IDR	15040	—	15200
USD/PHP	54.90	—	55.30
USD/INR	82.55	—	82.95

## 【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:  
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department  
Tel: 65-6805-4100

## 【為替】

アジア時間のドル円は142円台後半の水準でオープン。東京仲値にかけて強まった実需のドル買いの流れからドル円は堅調に推移し、143円台半ばまで上昇。これが一服すると、日経平均株価が下げ幅を拡大する中、リスクオフ寄りの動きが強まり142円台後半まで反落し海外時間へ。アジア通貨は下落。格付け会社フィッチが米国の格付けを最上位から引き下げたことを受け地合いが悪化した。なお、この日開催されたタイ中銀会合では政策金利は予想通り25bp引き上げられ、政策金利は2.25%となった。タイ中銀は国内のインフレ率はターゲットレンジ内で安定するとみているものの、依然としてアップサイドリスクがあるとの見直しから、今後の追加利上げに含みを残した。

海外時間のドル円は株価下落を受けたリスク回避の円買いが先行し、142円台前半の水準でNYオープン。NY時間朝方に発表された米7月ADP雇用統計が予想を大幅に上回ったことからドル買いが優勢となり、143円台前半まで上昇。その後、米金利が高水準で推移する展開がサポートとなり、143円台半ばまで続伸。しかしその後は伸び悩み、143円台前半まで小幅反落。NY時間午後もしり安推移となったが、終盤に掛けて小幅に反発し143円台半ばの水準でクローズ。

## 【金利】

米債市場はカーブがツイスト・スティープ化。7月ADP雇用統計が市場予想を大幅に上回ったほか、財務省の四半期定期入札の規模拡大が、大半のディーラー予想を上回ったこともあり金利上昇。その後は中期ゼン中心に金利上昇幅を巻き戻す展開。

## 【予想】

本日のドル円は昨日の流れを引き継ぎ底堅く推移するか。足許、米経済のリセッションリスクが後退し、指標結果もその見方を後押ししている状況。本日のISM非製造や週末の雇用統計の結果が予想を大きく下回らない限り、ドル円はじり高に推移しよう。

## 【本日の予定】

(日本) 7月 複合PMI(確) / サービス業PMI(確)  
(アジア) 2Q 豪 小売売上高  
(アジア) 6月 豪 貿易収支  
(アジア) 7月 インド PMIサービス業  
(アジア) 7月 シンガポール PMI  
(アジア) 7月 中国 PMIサービス業  
(アジア) 7月 豪 PMIサービス業(確)  
(欧州) 6月 ユーロ圏 PPI  
(欧州) 6月 独 貿易収支  
(欧州) 7月 ユーロ圏 サービス業PMI(確)  
(欧州) 7月 独 サービス業PMI(確)  
(欧州) 7月 英 サービス業PMI(確)、7月 英 外貨準備高変化  
(欧州) 英 金融政策会合  
(米国) 2Q 非農業部門労働生産性(速) / 単一人件費(速)  
(米国) 6月 製造業受注 / 耐久財受注(確)、7月 ISM非製造業景況指数  
(米国) 7月 サービス業PMI(確)、7月 チャレンジャー人員削減数、新規失業保険申請件数  
(米国) バーキン・リッチモンド 連銀総裁講演

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。